



互いに信頼される取引を通じて、
生産者と販売店、消費者をつなぐ架け橋に

どんな仕事？

産地に足を運び、生産者の声を直接聞くことが大事

1965(昭和40)年設立の当社は、野菜や果物の元卸として、全国各地の産地から集めた安全・安心で新鮮な農産物を量販店や仲卸業者に安定的に供給しています。そのためには、生産者や量販店などの信頼を得ることが不可欠。産地に足を運びその年の作付け状



代表メッセージ

お客さまのニーズを聞き取りコーディネートする仕事です



代表取締役社長
いけだ しんじ
池田 進二さん

経験をもとに自分で判断し、一番良い方法を見つけて販売できるのがこの仕事の面白さ。「この人から買えば、この人が売るものなら間違いなし」と信頼されることは、やりがいにもつながります。コミュニケーション力が欠かせない仕事なので、お客さまのニーズをしっかりと聞き取り、よりよい提案ができる人材を求めています。

事業内容

- 野菜・果実及びその加工品の卸売
- 野菜・果実の移出入・輸入・加工・冷蔵・冷凍
- 鶏卵・雑穀の卸売 など



企業DATA



福島中央青果卸売株式会社

〒960-0113 福島市北矢野目字樋越1
(福島市公設地方卸売市場内)
TEL:024-554-1265
FAX:024-554-1421
従業員数 88名(男49名・女39名)
休暇日数 年間115日



就活豆知識

さまざまな業種の企業説明会に参加することで、自分がどんな業界に興味があるかわかるようになるかも。

先輩のメッセージ

食べて覚えるのも
私たちの大事な仕事です



野菜事業部 企画直販部
さとう らいむ
佐藤 来夢さん
(勤続2年目)

人と話すのが好きなら
びったりの仕事です



野菜事業部 野菜部 課長
すがの まこと
菅野 誠さん
(勤続5年目)

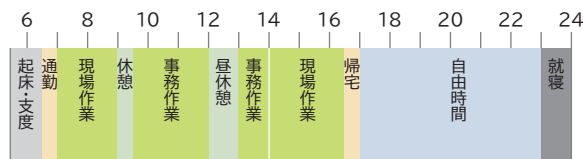
農業や青果物の知識は入社後にしっかり学べます！

主に商品の提案や出荷を担当しています。果物や野菜の魅力を伝える部署の人間として「食べて覚える」のも大事な業務。例えば、県産モモの品種ごとに味や食感の違いを確認し、それぞれの特徴を



覚えて仕事に生かしています。専門的な知識が求められますが、最初は農業や青果物について詳しくない人がほとんど。優しい先輩たちが丁寧に教えてくれるので知識が身に付き安心して働けます！食べるのが好きな人におすすめの仕事です。

1日のスケジュール



注文や競売の準備など野菜関係はなんでも担当！

野菜部は、会社で扱う野菜全般に関わります。生産者への注文や入荷した野菜を並べる作業、競売(せり)の準備などの現場仕事から、生産者と販売店の間に立つ調整役まで幅広く担当します。天候不順で野菜の入荷数が不足するなど、予想通りに進まないこともありますが、困ったときは先輩たちが助けてくれます。生産者や販売店の担当者とも頻りに連絡を取り合うので「人と話すのが好き」という人にはびったりの仕事です。



1日のスケジュール



働きやすい取り組み

育児・介護休業制度

男性社員を対象とした「パパ育児制度」を導入し、社員が性別にかかわらず平等に育児に専念できる体制作りに取り組んでいます。介護休業に関しては、定められた範囲内での申請が可能です。

有給休暇の特別付与

育児・介護中の社員の該当家族が、新型コロナウイルスに感染、もしくはその影響により自宅待機となった場合、就業規則による有給休暇とは別の特別休暇を付与する取り組みを行っています。

社員食堂の充実

朝食・昼食を低価格で提供しています。担当業務により始業時刻・休憩時間等がさまざまであることを考慮し、都合のよい時間に食事ができるよう、利用時間も幅広く設定しています。



子育て世代の社員も多く、育休が取りやすいよう制度の整備をしています。



朝が早い仕事なので、1日2食提供してくれる社員食堂は大助かり。今日はどんなメニューかと、みんな楽しみにしています。



子育て世代インタビュー

職場の理解があるから、フルタイムでも働けます

1年間の育休を2回取得しましたが、しっかり休んでいいという雰囲気があると感じました。事務職は8時からの勤務で残業もほとんどないので、復帰後もフルタイムで働いています。保育園利用料の補助や急な発熱時の早退など、子育てしながら働き続けられるよう配慮してくれるので、辞めようと考えたことはありません。今後は誰もが休みを取りやすい職場になるよう、社内に制度などの情報を周知していきたいです。

管理部
ふるやまけい
古山 景さん
(勤続13年目)

